

日 時	令和6年3月28日(木) 10:30~12:00 第26回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、温暖化対策統括本部長、市民局長、中区長
欠席者	城副市長、財政局長
議 題	3 「区役所の将来像」実現に向けた取組について【市民局・健康福祉局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <p>(1)本市を取り巻く環境の変化に合わせ区役所の機能強化を進めるため、「区役所の将来像」、その実現に向けた目指す姿を設定する。</p> <p>(2)将来像を実現するため、区役所の機能や業務に関する『3つの方向性(①「持続可能な地域運営に向けた方向性」、②「福祉保健センターの将来の方向性」、③「DX等を活用した区役所業務等の方向性」)』を職員向けに策定する。</p> <p>(3)『3つの方向性』に基づき、区役所・関係局の業務及び組織の最適化を推進していく。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政のデジタル化の推進や、地域活動の担い手不足、セーフティネット機能の維持など、検討の背景及び現状の課題を踏まえ、4年度以降、区局統括本部を横断した検討体制を設けて検討。 ・論点(1)・(2)について、区役所の将来像を「地域の総合行政機関、地域協働の総合支援拠点として、区民に寄り添って支援できる持続可能な区役所へ」とし、目指す姿を「地域支援や福祉保健サービスを更に向上させるため、限られた人材を必要な業務に重点配分できるよう、区役所の内部事務を効率化していくこと」及び「市民の皆様の利便性を更に向上させるため、デジタル技術を活用して手続きの簡素化・効率化を図ること」の2つを設定する。また、目指す姿を実現するための方策として『3つの方向性(①「持続可能な地域運営に向けた方向性」、②「福祉保健センターの将来の方向性」、③「DX等を活用した区役所業務等の方向性」)』を策定するもの。 ・今後、この方向性に基づいて区役所業務の最適化を推進していく。最適化の具体的な内容は、別の機会に改めて議論する。 ・論点(3)「区役所・関係局の業務及び組織の最適化の推進」に関し、区役所の将来像、目指す姿、3つの方向性については、庁内周知に取り組み、基本的な認識を全庁的に共有していく。あわせて、業務及び組織の最適化に向けた検討、関連する市会報告等を行い、令和7年2月頃に区役所の将来像実現策について具体的取組内容を含めて公表を想定。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健センターに関しては、これまで地域ケアプラザ等の充実を図ってきた経過も踏まえ、区が担うべき部分を明確にして検討すべき。

- ・区役所に関しては、区予算の拡充、まちづくり機能の強化などの議論がある一方で、高齢化などにより、地縁組織が地域を担えなくなっている現状にも目を向けて検討する必要がある。
- ・今後の検討・調整にあたっては、本市が目指す大都市制度との関係の考え方などについて所管局と一緒に整理しながら進めてもらいたい。土木事務所も含めて議論を進めてほしい。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。